

三郷市地域公共交通網形成計画 前期計画評価(案)

計画策定の目的

三郷市では、これまで平成17年度につくばエクスプレスやピアラシティの開業に合わせた三郷中央駅を中心とした路線バスの再編後、10年近くが経過し、バス利用者の需要動向も大きく変化している。また、外環道の三郷南インターから高谷JCTまでの延伸、三郷料金所スマートICの機能拡充、(仮称)三郷流山橋など広域道路網の整備が予定され、さらに、陸上競技場の整備、三郷インター南部南地区における土地区画整理事業が進められており、これらの事業と絡めた移動手段の確保が必要となっている。

このため、平成26年に一部改正された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、将来に渡って持続的かつ安定的に公共交通が維持・発展させ、まちづくりなどの地域戦略と一体となった公共交通の活性化、利用促進を図るため、「三郷市地域公共交通網形成計画」を策定する。

地域公共交通の構築に係る基本方針及び目標

1 地域公共交通に関する基本方針

【地域公共交通の基本理念】
：まちとまちを結び、地域公共交通網の維持による利用しやすい公共交通サービスの実現「三郷」

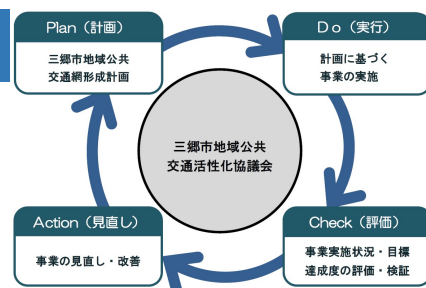
【地域公共交通に関する基本方針】
①公共交通機関が相互に連携した「使いやすい」「分かりやすい」公共交通サービスを目指す
②拠点間及び拠点と周辺都市を結ぶ公共交通ネットワークの構築を目指す
③「地域が支え、育てる」持続可能な公共交通の確立を目指す

2 地域公共交通の目標

基本方針	評価指標	当初値	現状値 (R元年度)	目標値 (R7年度)
(1)公共交通機関が相互に連携した「使いやすい」「分かりやすい」公共交通サービスを目指す	①乗継拠点での機能強化の整備箇所数	1箇所 (三郷中央駅)	2箇所(市役所追加)	7箇所
	②運行情報案内の市民の満足度	27.3%	—	35%
(2)拠点間及び拠点と周辺都市を結ぶ公共交通ネットワークの構築を目指す	③駅利用者数(日平均、3駅合計)	43,183人	45,363人	45,100人
	④バス利用者数(日平均)	22,075人	21,991人	23,000人
	⑤鉄道に対する市民の満足度	53.1%	—	60%
	⑥路線バスに対する市民の満足度	26.1%	—	35%
	⑦外出困難度	30.3%	—	25%
(3)「地域が支え、育てる」持続可能な公共交通の確立を目指す	⑧地域公共交通利用促進活動事業実施回数	—	10回	8回
	⑨商業施設等との連携による利用促進活動の導入件数	—	0件	2件

計画の達成状況の評価

本計画を着実に推進するため、「三郷市地域公共交通活性化協議会」が主体となって進行管理を実施する。前期最終年度(令和2年度)には、計画全体及び地域公共交通全体の再編の評価・検証を実施し、必要に応じて計画の見直しを行う。また、後期最終年度(令和7年度)には、前期最終年度と同様に、評価を行い、次期計画の策定を検討する。



目標を達成するために行う具体的な事業

基本方針1：公共交通機関が相互に連携した「使いやすい」「分かりやすい」公共交通サービスを目指す

【事業1】乗継拠点の機能強化 実施主体：三郷市、バス事業者

乗継拠点となっている「三郷駅」「新三郷駅」「三郷中央駅」「三郷市役所」「ピアラシティ」の5ヶ所について乗継案内、公共交通機関の乗り場案内、乗り場での行き先表示やレールアンドバスライドの整備について充実するとともに、訪日外国人向けの多言語化表記や、乗継抵抗の軽減に資する乗継時間や運賃負担などについて検討する。なお、「三郷北部地区」「三郷南部地区」については、周辺まちづくり等の状況等を踏まえ、中長期的な視点で整備を検討する。

前期計画の成果及び今後の方向性(案)

平成31年4月、三郷市役所本庁舎入口にデジタルサイネージを設置。設置したデジタルサイネージについて、多言語表示(英語は平成31年4月から、中国語(簡体字)・韓国語は令和元年11月から)にも対応。現状未整備の5か所については、中長期的な視点から整備の必要性も含め、継続的に検討する。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	乗継拠点の機能強化	検討・協議			検討・協議後実施				
		実施							
現状		検討・協議	実施						

ご意見欄

【事業2】待合環境の整備 実施主体:三郷市、地域、埼玉県、バス事業者

待合環境の設置について、幹線公共交通軸上で医療機関や商業施設など利用が多い停留所については、優先順位を付けながら計画的に整備を進める。また、公共・民間施設を活用した拠点スポットの整備（「バスまちスポット」「まち愛スポット」登録制度の活用など）について、施設管理者と連携・協力し、利用者が安全で快適にバスを待つことができる環境づくりを順次進める。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

○上屋・ベンチの整備

令和2年3月に三郷駅南口7か所のバス停について、老朽化したベンチを撤去し新設。引き続き利用者が多い停留所について、バス事業者や施設管理者と協議し、整備を検討する。

○バスまち・まち愛スポット

令和元年7月までに3か所（ピアラシティ交流センター、ファミリーマート三郷かまくら店、三郷市役所）を登録。計画期間は満了となるため、今後の事業実施について検討する。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	上屋・ベンチの整備	← 順次整備 →							
	バスまち・まち愛スポットの整備	← 順次整備 →							
現状	上屋・ベンチの整備	← 検討 →		実施					
	バスまち・まち愛スポットの整備	← 順次整備 →		検討					

ご意見欄

【事業3】主要バス停の分かり易い停留所の整備 実施主体:三郷市、バス事業者

鉄道駅周辺など複数のバス事業者が運行中の地域においては、停留所を1箇所を集約するなど、共通の時刻表・路線図などを掲出するなど、分かり易い情報提供を行う。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

未実施。事業主体となる各バス事業者と具体的な事業を検討・調整し、実施を目指す。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	主要バス停の整備	← 協議後実施 →							
現状		←	検討	→					

ご意見欄

【事業4】サイクルアンドバスライドの推進 実施主体:三郷市、バス事業者

サイクルアンドバスライドの継続的な周知PRを実施していくとともに、設置箇所の拡大や利用環境（清掃等）の改善について関係機関と協議・調整を図りながら検討する。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

水路整備により1箇所減となったが、バスガイドマップや看板の設置などPRを実施。また、放置自転車の撤去などの利用環境の改善についても実施。今後もPR及び利用環境の改善について継続的に実施を予定。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	サイクルアンドバスライドの推進	← 設置箇所検討 →			← 実施 →				
現状		← 設置箇所検討・環境改善実施 →							

ご意見欄

【事業５】運行情報提供の充実・改善 実施主体:三郷市、バス事業者

「バスガイドブック」の継続的な作成・配布や、「総合時刻表」の作成、公共施設や医療機関などが主要停留所への路線図の掲載、乗継拠点での運行情報案内システムの設置などを行うとともに、現在国で実用化を推進している公共交通に関する「オープンデータ」による運行情報検索や駅等の施設情報など、より分かり易い情報提供の充実・改善について検討する。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

例年バスガイドブック・マップを作成。バス事業者においては、東武バスセントラル(株)・京成バス(株)・京成タウンバス(株)はバスロケーションシステムを導入済み。「総合時刻表」、「オープンデータ」については引き続き検討する。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	運行情報提供の 充実・改善	←→							
現状		←→							

ご意見欄

【事業６】交通系ＩＣカードの導入検討 実施主体:三郷市、バス事業者

交通系 IC 導入へ向けて、導入費用などの支援制度の検討などを進めていくとともに、定額の乗り放題チケット（期間限定など）等の導入について検討を行っていく。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

交通系 IC ではないが、埼玉観光(株)において WAON 決裁を導入。
今後は交通系 IC だけでなく、その他キャッシュレス決済の導入も含め引き続き検討する。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	交通系ＩＣカードの導入検討	←→							
現状		←→							

ご意見欄

基本方針２：拠点間及び拠点と周辺都市を結ぶ公共交通ネットワークの構築を目指す

【事業７】鉄道輸送の利便性及び安全性向上 実施主体:鉄道事業者、三郷市

鉄道事業者においては、輸送力の増強、定時運行の確保を図り、バリアフリー化などあらゆる利用者の利便性・安全性向上を図る。また、三郷市においては、利便性の高い移動手段の確保、快適に安心して駅を利用できるよう関係機関に働きかけを行う。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

JR 武蔵野線についてはダイヤ改正、新三郷駅のエレベーター改修を実施。TX についてはダイヤ改正、新型車両の導入を実施。引き続き各実施主体が事業目標達成に向け取り組む。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	鉄道輸送の利便性及び安全性向上	←→							
現状		←→							

ご意見欄

【事業８】幹線公共交通軸の品質向上と維持・充実 実施主体:三郷市、バス事業者

幹線公共交通軸上の路線バスについて停留所の高度化による待合環境強化や、低床バス導入によるバリアフリー化、乗継拠点での乗継利便性向上、サイクルアンドバスライド導入促進などを検討し、一層の利用促進を図っていく。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

三郷市内における低床バス導入率１００％を達成。引き続き品質向上と維持・充実に取り組む。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	幹線公共交通軸の品質向上と維持・活性化	←→							
現状		←→							

ご意見欄

【事業9】まちづくりの進捗等に合わせた路線バスの再編検討

【事業9－1】まちづくりや道路整備の進捗に合わせた路線バスの再編検討 実施主体:三郷市、バス事業者

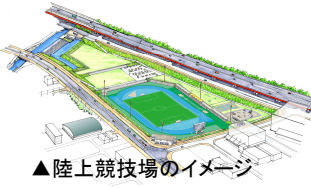
三郷インター南部南地区では、土地区画整理事業によるまちづくりの整備が、また、三郷南部地区では、近隣型の商業・業務機能の集積に向けた検討を行っており、これらまちづくりの事業進捗や道路整備に合わせて、路線バスの再編について検討する。

【事業9－2】地域との協働による路線バスの再編検討 実施主体:三郷市、地域、バス事業者

公共交通空白・不便地域や路線バスの再編に対するニーズが高い地域を対象に、地域が主体となって議論する地域勉強会を開催し、路線バスの再編について検討する。また、事業スキームなど地域公共交通を支える仕組み・体制づくりなどについて検討する。

【事業9－3】陸上競技場の整備に合わせた路線バスの再編検討 実施主体:三郷市、バス事業者

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプでの活用を検討している陸上競技場の整備を進めている。陸上競技場が整備されることにより、公共交通の利用者が見込まれるため、バス停の設置や路線バス網の整備について検討するとともに、各種交流事業と地域公共交通との連携についても検討する。



前期計画の成果及び今後の方向性（案）

「9－1」について、インター南部南地区だけでなく北部地区においても区画整理事業に着手。また、駒形線や三郷流山線も事業が進んでいる。

「9－2」について、成果なし。

「9－3」について、マイスカイ交通が陸上競技場前にバス停新設。上屋については市が整備を実施。

今後についてはそれぞれの事業主体と協議・検討し、バス路線の再編について検討する。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	まちづくりや道路整備の進捗に合わせた路線バスの再編検討		検討・協議		実施				
	地域との協働による路線バスの再編検討				検討				
	陸上競技場の整備に合わせた路線バスの再編検討	実施							
現状	まちづくりや道路整備の進捗に合わせた路線バスの再編検討	検討							
	地域との協働による路線バスの再編検討	検討							
	陸上競技場の整備に合わせた路線バスの再編検討	検討・実施							

ご意見欄

【事業10】路線バスの走行環境の改善

【事業 10－ 1】駅前広場における路線バス走行環境の改善 実施主体:三郷市、埼玉県警察、バス事業者、タクシー事業者
三郷駅、新三郷駅及び三郷中央駅の各駅前広場について、路線バスの安全な走行環境を確保するよう、送迎車両に対する交通規制や歩行者への注意喚起のサインの設置などについて検討する。

【事業 10－ 2】路線バスの走行環境向上策の展開 実施主体:国土交通省、埼玉県、三郷市、埼玉県警察、バス事業者
バス事業者から遅延や危険な箇所として指摘があった箇所については、交差点改良や道路整備などを進めるとともに、路線バスの定時性・速達性の向上に資する信号制御などの施策について検討する。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

「10-1」について、三郷駅南口・新三郷駅西口、三郷中央駅において路面標示（白線等）の修繕を実施。また、三郷駅南口のバス停に、一般車向けの駐停車禁止看板の設置を実施。

「10-2」について、関東運輸局が主導となり、バス事業者・道路管理者でバス停留所の安全性確保対策を実施中。

引き続き事業を実施予定。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	駅前広場における路線バス走行環境の改善	←検討・協議→			←		実施		→
	路線バスの走行環境向上策の展開	←			→実施				
計画	駅前広場における路線バス走行環境の改善	←検討・実施→							
	路線バスの走行環境向上策の展開		←協議・実施→						

ご意見欄

【事業11】高速バスによる羽田・成田空港への運行検討 実施主体:三郷市、バス事業者

外環道（三郷南ＩＣ～高谷ＪＣＴ）の開通に伴い、羽田空港、成田空港への交通アクセスが格段に向上するため、鉄道３駅（三郷駅、新三郷駅、三郷中央駅）に停車する高速バスの運行について検討する。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

バス事業者と協議するも、運行開始には至らなかった。引き続き事業実施に向け検討する。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	高速バスによる羽田・成田空港への運行検討	←検討・協議→		←		実施			→
現状		←検討・協議→							

ご意見欄

【事業12】バス運転手の確保・育成 実施主体:三郷市、バス事業者

三郷市で実施中の「合同企業面接会」やバス運転士に特化した就職博の開催など、バス事業の魅力や社会的な重要性を周知するための確保方策について検討する。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

令和２年度はバス事業者が参加できなかったが、例年「合同企業面接会」を実施。引き続き「合同企業面接会」に参加し、バス運転手の確保・育成を目指す。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	バス運転手の確保・育成	←			→実施				
現状		←実施→							

ご意見欄

■基本方針３：「地域が支え、育てる」持続可能な公共交通の確立を目指す

【事業13】 商業施設との連携事業 実施主体:三郷市、バス事業者、市民団体、企業

新三郷駅やピアラシティ周辺等の商業施設及び地元商店会と連携し、公共交通の利用に付加価値を付けた割引サービスや企画切符等を検討する。また、市役所やピアラシティ交流センターなど公共施設で実施するイベントの参加について、公共交通利用の案内を掲載するなどの利用促進活動の検討を行う。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

成果なし。今後の事業実施に向け、各実施主体と検討・協議する。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	商業施設との連携事業	←			検討・実施				→
現状		←			検討				

ご意見欄

【事業14】 運転免許自主返納制度の導入検討 実施主体:三郷市、埼玉県警察

高齢者の交通事故の抑制と公共交通の利用促進を図るため、シルバーサポーター制度の周知等警察と協働で返納制度を推進していく。また、各バス会社で取り組んでいる高齢者限定乗車券の購入促進などを図っていく。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

成果なし。今後の事業実施に向け、効果的な方法を各実施主体と検討・協議し、実施を目指す。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	運転免許自主返納制度の導入検討	←			検討・実施				→
現状		←			検討				

ご意見欄

【事業15】 モビリティ・マネジメントの実施 実施主体:三郷市、地域住民、バス事業者

公共交通マップの作成・配布など、運行情報提供の充実・改善を図っていくとともに、小・中学生や高齢者等を対象にした乗り方教室の開催や、路線バスの利用促進のためのスタンプラリーの実施など、公共交通の利用啓発や潜在需要の掘り起こしのための施策を実施する。

前期計画の成果及び今後の方向性（案）

バス乗り方教室（H30 から年 2 回）・交通防犯フェア（H30、H31）・ららぽっとにおいて展示（H30、H31）を実施。（累計 10 回）
交通防犯フェアとららぽっとにおける展示については、市の機構改善や新型コロナウイルス感染症拡大防止等により、令和 2 年度未実施。
今後も継続して取り組みを検討。

		前期			後期				
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
計画	モビリティ・マネジメントの実施	←			検討・実施				→
現状		←			検討・実施				

ご意見欄